

自ら考え よく学ぶ 心豊かでたくましい子



輝け三井っ子

輪島市立三井小学校
学校だより 第11号
令和6年3月22日
文責:角間

「挑戦し、感動いっぱい」の三井小学校



春風に思いをのせて
それぞれが次のステージへ!

“どんな時も子どもは希望の光”

新たな希望と期待を胸に抱き、迎えた令和6年1月1日でしたが、これまでに体験したことのない能登半島地震が起きました。一瞬にして、沢山の大切なものが失われ、自然の脅威に直面しました。三井地区でも被害に遭わなかった人はいなかったことでしょう。辛いことがたくさんあったと思いますが、それでも三井公民館や集会所などで、みなさんが助け合い、がんばっていらっしゃる姿を拝見しながら、みなさんの郷土を愛する心と共に助け合う姿に心を打たれ勇気をいただきました。

この三井小学校も大きな被害に遭い、どうして良いかわからないほどの大変な被害状況でした。それでも子どもたちが、「また、この校舎で学習するかもしれない。」「児童が学校を見ても悲しむことのないようにしたい。」と願って、自衛隊の方の協力も得ながら、できる限り片づけてきました。

学校再開は、三井小学校ではなく、輪島高校で、三井小学校を含めた輪島地区6校の小学校が一緒に学ぶことになりました。三井小の10名の子たちは、三井に残っている子が半数、三井を離れて県内、県外で暮らしている子が半数です。

被災後の大変な状況においても、子どもは学校に毎日通い、「楽しい」と言います。子どもたちは、学校がいかに大切な場所であるかということに改めて気づいたことでしょう。新しい環境の中でも、しっかり適応して学習し、新しい友だちと関わっている姿を見たり、聞いたりすることで、心から安心でき、頼もしく感じています。

今思うことは、“子どもは素晴らしい。どんな時も、子どもたちは希望の光である”ということです。

子どもの前向きな姿や、笑顔には本当に励まされます。

一年を振り返りながら、個性あふれる10人が、一つの目標に向かって力を合わせることで、一人一人の素晴らしい力が発揮され、感動いっぱいの三井小学校が実現できたことを思い出します。

私たち教育に携わる職員は、子どもからたくさんの生きがいをもたらしています。その分、「子どもたちの笑顔のために、そして幸せのために、しっかり努めていかなければならない。」と、覚悟を新たにしています。

保護者の皆様、地域の皆様には、常に本校の学校教育にご理解くださり、ご尽力いただいておりますことに深く感謝いたします。今後も変わらぬ、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校長 角間 久美子

第45回卒業証書授与式 凛々しく小学校を巣立つ6年生

去る3月15日(金)は、三井小学校の卒業式が輪島地区合同で、輪島消防署で行われました。

第45回卒業生の さん、 さん、 さんの3名は、大勢の中で、よい返事をし、しっかりとした眼差しで、凛々しく卒業証書を受け取りました。6年間を学び終えたという、自信と誇りが伝わってきました。

当日、合同の卒業式でしたので、式辞を述べることはできませんでしたが、17日(日)保護者、地域の方が開いてくださった「感謝の集い」で、卒業生、在校生に、次のようにメッセージを伝えることができました。

沢山の大切なものがこの地震で失われましたが、失われずに自分に「ある」ものがあります。私たちは、ともすれば、この大切なものに気づかなかつたり、自分には「何もない」と思ったりしがちです。自分に「ある」ものに自信と誇りをもって、歩んでください。

まず一つ目は、才能や長所です。

みなさん一人一人には、それぞれ、持って生まれたすばらしい才能や長所が備わっています。自分にある力を信じて、前へと進んでください。

二つ目は、家族です。

誰よりも深い愛情で、みなさんのことを心から大切に思い、守ってくれています。みなさんがこうして成長できたのは、家族のおかげであることを忘れてはなりません。

三つ目は、みなさんに温かい愛情を注いでくださっている地域の方々です。

これまで、米作り、サツマイモ作り、椎茸作り、詩吟教室、俳句教室、権現太鼓、本の読み聞かせ等や、授業に入って教えていただいたりして、さまざまな知識や技能を身につけてくださいました。

また、地域の「田の神様」などの伝統行事を通して、目に見えないものの大切さや、他を思いやる豊かな心を教え育ててくださいました。みなさんを三井の「宝」として大切に見守ってくれています。

このように、みなさんには、大切なものがしっかり「ある」のです。

そして、多くの方々のおかげで、今の自分があることを忘れてはなりません。心から感謝できる人になりましょう。

学校の玄関にある「一位の木」の周りに水仙が芽を出し、春が訪れたことを告げてくれました。

この水仙は、昨年、きれいに刈り取られ、咲いていた場所が分からなくなっても、春には自分の力で芽を出し、葉を伸ばし、花を開花させるエネルギーを蓄えていたのです。可憐なように見えてたくましい、この水仙のように、三井っ子みなさんも、次に向かって、しっかり、歩んでいきましょう。



三井小学校を離任する職員 お世話になりました・・・

この度、5名の職員が三井小学校を離任、または退職することになりました。保護者の皆様、地域の皆様には、ひとかたならぬご支援をいただきまして、誠にありがとうございました。三井小学校での経験を糧に、次のステージ、次の任地において活躍されることを願います。

教諭	長井 真吾	離任	輪島市立町野小学校へ
養護助教諭	藤澤 未遥	離任	能登町立鶴川小学校へ
事務主事	金井果奈実	離任	穴水町立向洋小学校へ
校務士	福平 浩一	退職	
非常勤講師	濱高 直希	離任	珠洲市立宝立小中学校へ



「三井小学校 感謝の集い」 保護者・地域の皆さん ありがとうございました

保護者の皆さんと三井公民館の小山館長さんが中心となって、「三井小学校 感謝の集い」が、3月17日(日)に行われました。三井町区長会や学校評議員、学校でお世話になっている地域の方々、学校職員も含めて、多くの方が学校に招待されて、集まってくださいました。



PTAを代表して表さんが、この感謝の集いを開くに至った理由を皆さんに述べると、地域の方や保護者の方、子どもたちもお世話になった三井小学校への思いを強くしました。この後の三井小学校の校歌が会場に響きました。

次に、小山館長さんより、仁行和紙で作成した「感謝状」が児童、職員に贈られ、大変恐縮であると共に、心よりありがたく感謝して受け取りました。



また、防犯安全協会の漆谷さんからは、児童に筆記用具などがプレゼントされました。



国土交通省の田中さんからは、三井インターの開通式や道路見学、除雪車見学、授業など4つの写真が入ったしおりをプレゼントしていただきました。能越道の修復や復興工事で大変お疲れの中、三井っ子に命の尊さ、生きていることへのエールを送ってくださいました。

私たち学校側も頑張ってきた児童にお花やこれまで三井っ子が獲得したコンクールの副賞(図書券)を一人一人に手渡しました。卒業生へのプレゼントも担任から手渡されました。



感謝状のお礼を職員代表として校長が、児童代表として卒業生の さんが「小学校で学んだことを生かして頑張ります」と、これからの決意を述べました。

最後に、全員で歌った三井小学校の校歌は、より一層大きく響き、学校への思いが一人一人の心にしっかりこもっているように感じられました。



外では、スペシャルゲストの“登天ポールさん”がサプライズで登場し、地域の方々を盛り上げてくださると共に、茅葺庵の山本さんとボランティアの方々が、露店でたくさんのごちそうを作ってください、おいしくいただきました。



保護者のみなさん、地域のみなさんの温かい心で、三井小は感動いっぱいになりました。

とても素敵に残る一日になりました。深く感謝を申し上げます。

4月当初の予定について **新学期に向けて...**

8日(月) 入学式(輪島消防署 11時開式)、始業式

9日(火) 昼食開始(2年生から6年生)

※4月の詳細なお知らせは、その都度、テトル等で配信いたします。よろしくお願いたします。